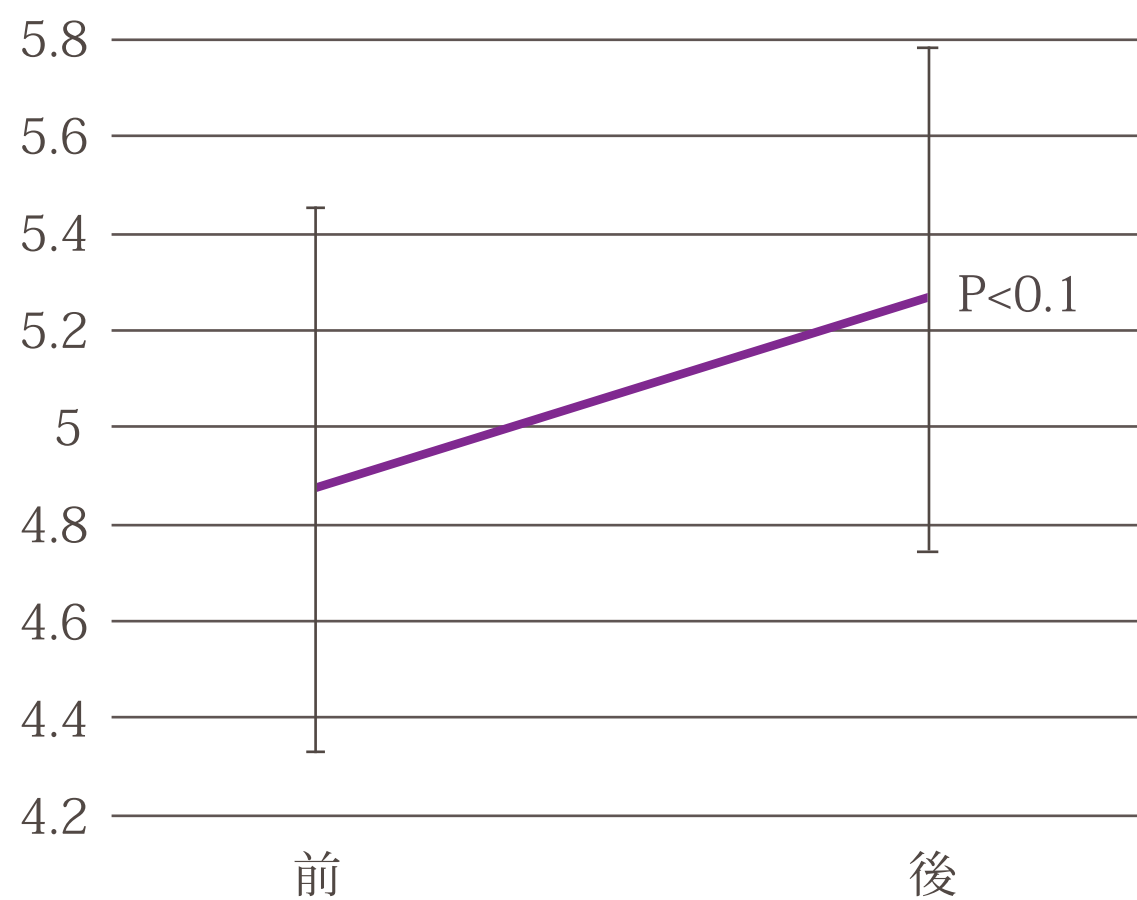


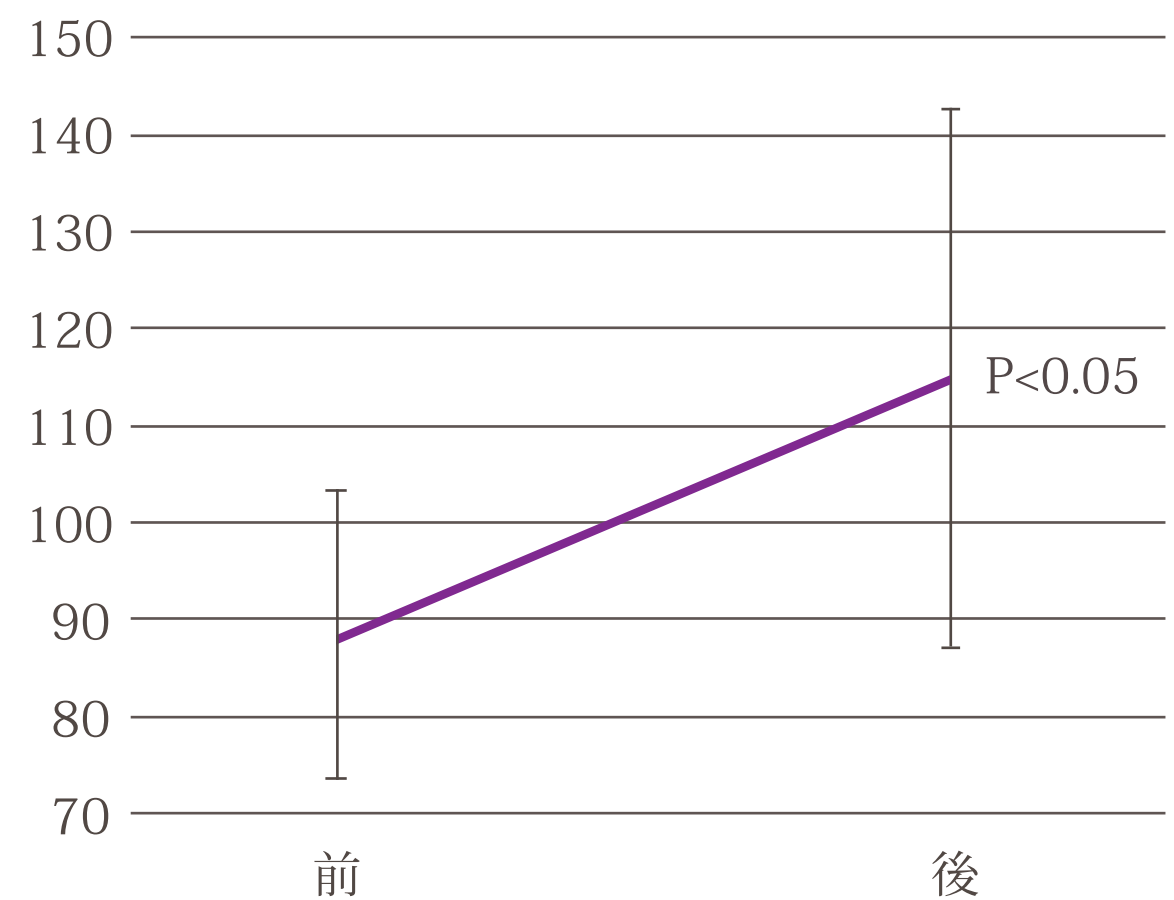
ライスベリーパウダーの摂取による 身心への影響

一般公募で集められた8名の健常者（男性4名、女性4名、平均年齢 41.88 ± 16.37 歳）を対象として、ライスベリーパウダーを1日5g、1カ月間摂取した場合において末梢血管に与える影響、自律神経に与える影響、唾液中免疫ホルモンに与える影響について調査しました。

副交感神経の活性化



唾液中 sIgA の上昇



自律神経分析の結果では、副交感神経指標である HF が活性化する傾向がありました。（ $P<0.1$ ）また、唾液中 sIgA については有意に上昇していました。

抹消毛細血管像の改善



指先より得られた抹消毛細血管の顕微鏡像では、肉眼的に顕著な改善を観察しました。特に多くの症例では抹消毛細血管像が鮮明となり、末梢の循環改善が観察されました。